

平成30年11月 市長定例記者会見

2018年11月1日(木)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから平成30年11月市長定例記者会見を始めます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては、事業発表についてからお願いしたいと存じます。事業発表に係る質疑応答が終了いたしましたら、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行いたします。

なお、ご質問の際は、お手数ではございますがご自席のマイクのスイッチを入れていただき、ご質問の後はお切りいただきますようご協力をよろしくお願い申し上げます。

終了は14時30分を予定いたしております。ご協力のほどお願い申し上げます。

それでは、市長、よろしくお願い申し上げます。

【市長】 では、11月の定例記者会見ということで、よろしくお願い申し上げます。

最初に、国体・障スポですけれども、9月15日、水泳から始まりまして、10月15日、障スポが終わりました。ちょうど1カ月でしたけれども、選手団の皆さん、そして関係者の皆さん、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

おかげさまで、福井県は天皇杯、皇后杯、両方ともとれましたので、またこれで市民の皆さんのスポーツに対する関心、またスポーツに関わる方たちが増えていただくことを期待するところです。

それからまた、10月、11月にかけてまして敦賀市ではたくさんのイベント等が行われております。TSURUGAテツマチミーティングとか、イルミネーション「ミライエ」、また敦賀国際文化交流フェスティバルとか、たくさんございますので、ぜひ敦賀へ市内外からたくさんの方に訪れていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

今日は、事業発表として5つの項目がありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【秘書広報課長補佐】 それでは続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 最初は、市庁舎外観デザインの決定についてです。

新しい市庁舎の外観デザインにつきまして、パブリックコメントで集まりました意見をもとに、北面はB案、南面は第2案のデザインを採用することに決定いたしました。外観デザインの決定に当たりましては、平成30年10月11日木曜日から24日水曜までの期間、市内各公民館やプラザ萬象、市庁舎1階市民ホール及び市内各小中学校に意見回収箱と外観デザイン案の資料を設置し、パブリックコメントを実施するとともに、10月19日金曜日から24日水曜日にかけて現庁舎近辺の小中学校4校で出前講座なども開催いたしました。担当職員が生徒に外観デザインについて説明を行い、意見を伺ったというところでございます。

2つ目としまして、北陸新幹線敦賀開業に伴う敦賀駅東西出入り口の通称募集についてです。

北陸新幹線の整備に伴いまして、現敦賀駅の東側に新幹線駅舎が建設され、新たな出入り口ができます。そこで、市民の皆様に親しみを持っていただくとともに、敦賀を訪れる方々にわかりやすい駅となるよう、広く東西出入り口の通称を募集いたします。募集した

通称は、その中から東西それぞれの案を選定し、JR西日本及び鉄道・運輸機構へ提案いたします。

なお、通称募集は、金沢から敦賀間の新幹線駅6駅の中では初の取り組みとなると伺っております。

それから3番目でございますが、平成30年度敦賀市総合防災訓練の実施についてです。

市民の自助、共助による地域防災力の向上及び防災関係機関の連携強化を図ることを目的とする市民主体の総合防災訓練を実施いたします。11月18日日曜日に、大型台風の影響で降り続く豪雨により甚大な被害が発生したという想定で、西、松原、西浦地区住民、市役所及び防災関係機関を対象とした訓練を敦賀市立松陵中学校及び市立体育館で実施いたします。なお、前日、17日の夜には避難所の宿泊体験訓練を実施いたしますので、よろしくお願いいたします。

それから4番目ですけれども、平成30年度除雪排雪計画についてです。

11月15日から翌3月31日を除雪期間として、除雪排雪計画に基づき実施いたします。除雪作業につきましては、車道及び歩道の除雪を敦賀市土木協会、敦賀市管工事組合、造園組合、その他協力事業者へ委託し実施します。

車道除雪は、通常の場合、積雪深が10センチに達した場合に出動し、深夜から早朝にかけては通勤通学の時間帯に間に合うよう午前7時ごろには作業を終える予定で実施しますが、大雪や明け方の降雪により遅れる場合もございます。歩道除雪は、昨年同様、県と連携し、積雪深が20センチに達した時点で取りかかることとします。

なお、今年度も敦賀市除雪機械購入費補助金の制度を活用し、除雪委託業者が除雪機械を5台購入いたしました。今年、購入の除雪機械を含め、効率的、効果的に除雪を実施してまいります。

排雪の場所につきましては、和久野橋下流及び敦賀市総合運動公園西側駐車場の2カ所を指定しています。また、緊急時の排雪場所として、昭和町1丁目、笙の川の左岸に加えまして、今年度から松原運動場を新たに指定しております。

5つ目でございますが、「健康応援フェスタ2018 ～見てみよう！自分のカラダと敦賀病院～」の開催についてです。

市立敦賀病院では、「健康応援フェスタ2018 ～見てみよう！自分のカラダと敦賀病院～」を開催いたします。開催日時は平成30年11月10日土曜日午前10時から午後3時まで、市立敦賀病院で行います。模擬店や各種体験コーナーもあり、子供から大人まで楽しめる内容ですので、ぜひご参加ください。

発表項目は以上です。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目についてご質問をお受けしたいと存じます。

本日は、幹事社さんが出席されておられませんので、各社お伺いをさせていただきます。それでは、発表項目につきましてご質問等ありましたら挙手をよろしくお願いいたします。

【記者】 庁舎のデザインで、決定したデザインについて、市長の受けとめをお願いいたします。

【市長】 庁舎のデザインを募集しましたが、それぞれの案、すばらしいなと思って見ていたんですが、募集しましたら結構集中して、B案と第2案に集中しておりました。

ので、皆様方の意見というのは集約できたのかなというふうに思っています。

もう一つは、北面と南面でデザインが違ったらどうしようかなという意見もあったんですが、統一したデザインになりましたので、その辺もご配慮いただけたのかなと思っています。

【記者】 関連なんですけれども、決まったデザインそのものに対しての市長の意見とか、どういうイメージにでき上がったみたいな部分は。

【市長】 どちらも擬木を使ったデザインですので、涼しげで、今年の夏は暑かったですから、そういう意味では涼しげで、いいなと思っています。

あとは、細かい擬木がありますから、掃除するのに大変なのかなと思いつつ、その辺をどういうふうに簡易に掃除ができるように設計上工夫していただけるのかなと楽しみにしています。

【記者】 もう1点、同じ市庁舎の外観デザインですけれども、去年、2案出されて、そこからずっと検討されてきて、大分もう固まってきたということで、今回ここまで来たということについて、改めて。

【市長】 そうですね。今庁舎があるところにもう一つ建てるということなので、いろんな工夫とかご苦労があると思いますし、また、この設計を固めていく上でもいろいろ、設計を担当していただいている事業者の皆さんとか担当の職員もそうですけれども、何も無いところからいろいろ考えていきますので大変だと思いますが、やっと固まってきたので、これからどんどん前に進んでいくと思っています。

レイアウトについても、いろいろ庁内で議論もしていただきましたので。

【記者】 庁舎の件で重ねてお伺いするんですが、金額がだんだん上がってきたんですけれども、まだもう1回、2回とまだ、市長、上がる可能性はあるんですか。もともと市債だからあれなんですけれども。

【市長】 熊本の地震がありまして、補助金ももらえる状態ということで、時間的にも急いでいるんですけれども、そういう意味では、できるだけ安くしていただきたいというのは気持ちとしてはあります。市民の皆さんが使いやすいように、また効率がいい庁舎ということもやっていかななくてはけませんし、その中で耐震の関係で少しまた費用も要するというので、新幹線の費用も上がったりしていますから、東京オリンピックに向けてそういう物価が上昇する時期にもあるんでしょうし、なかなか自分たちの思いどおりにはいかないというのは思いますけれども、できるだけ費用は上がらないようにということを毎回言っているんですけれども、毎回上がっています。

【記者】 まだもう一回ぐらいは上がるかもしれないと。

【市長】 ないように頑張りたいと思います。何とも言えません。

【記者】 総合防災訓練なんですけれども、すごく力が入った内容になっているんですけれども、ここの西浦、松原、特別なことが何かあるんですか。かなり大規模な内容で。

【市長】 いえ、2年に1回やっていますので、4地区ごとに。

【記者】 いつもこの規模。

【市長】 はい。前回やりましたときは、出席者で800人程度だったと聞いていますので、大体この規模でさせていただきます。

【記者】 炊き出しとか、明け方ぐらいからやったりする感じなんですか。

【市長】 担当のほうで。防災食を食べたりします。

【市民生活部長】 炊き出し等も行います。いろんなブースも出ますので。

【記者】 炊き出し、18日未明ぐらい。

【市長】 朝御飯。17日に泊まりますから、18日の朝御飯を食べられる。

【市民生活部長】 2回行います。宿泊訓練のための炊き出しと、それから当日の炊き出し。2回させていただきます。

【記者】 そうしたら、18日の明け方ぐらいに松陵中学校へ行ったら炊き出しの風景が撮影できると。

【市民生活部長】 そうです。

【記者】 起床時間は何時ですか。

【市民生活部長】 7時に集合します。

【記者】 それにしても、ここの地区は特別熱心な地区ということ。

【市長】 いや、どこでも結構出てきていただけます。ほかの地区でも。市内を4カ所に分けまして、ずっと順番にやっていますので。

【記者】 そうですか。ちょっとこの規模感、びっくりしたんですけれども、僕。

【市長】 2年前は気比中学校でさせていただいて、私も泊まりました。

【記者】 市長は行かれるんですか。

【市長】 今回は泊まりません。

【記者】 わかりました。

【市長】 今回、防災ミニ検定とかもやりますので、ぜひお楽しみに。

【記者】 今の総合防災訓練ですけれども、近年、全国的にそういうふうな災害というか起こっていて、2年ぶりということで、新たな知見というか新たな試み、全国の災害を見て新たにに取り組むこと等ありましたら教えていただきたい。

【市長】 詳しいことは部長のほうで答えますけれども、今回聞いていますのは、消防プラス警察と一緒に訓練していただけると聞いております。今までは地震とかそういうものが多かったんですけれども、今回は雨ということで考えながらやっていくということが新しいところだと思います。

あとはお願いします。

【市民生活部長】 今回の重点訓練項目というのが5つございます。1つが体験学習型の訓練の充実。もう一つが将来の地域防災の担い手の育成。3つ目が医療関係機関との連携の強化。4つ目が消防、防災関係機関との連携の強化。それから5つ目としまして避難行動要支援者への避難の支援等でございます。

それから、今回の訓練につきましては、いわゆるタイムラインを意識して、なるべく実際の時間経過に近い形で各訓練を実施していきたいと思っておりますし、また、敦賀病院のほうでも、この訓練に連携する形で訓練を実施する予定でございます。

【秘書広報課長補佐】 よろしいでしょうか。ほかいかがでしょうか。

それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へ進みたいと思います。ご質問等ありましたら挙手をよろしく願いいたします。

【記者】 市長、また動燃の燃料取り出し、延期になっているみたいなんですけれども、そのことに関しての見方、どんな見方かということと、それともう1点、全然関係ないです

が、知事選の関係で、新しい候補が煮詰まってきた状態ですので、特段、市長にお伺いしていいかどうかわかりませんが、もし感想をお伺いできるんだったらお願いしたいなと思います。

【市長】 もんじゅの燃料取り出しの件については、今日も新聞で拝見した部分もありますけれども、1日1体だと年内には間に合わないんじゃないかというところに来たということですが、私どもいつも申し上げていますのは、日程ありきじゃなくて、いかに安全に搬出していただくかということなので、立ちどまって確認していただくのは全然構わないと思っていますので、敦賀市としますと、それでいいと思っています。

ですから、効率が必要になって1日2体とかいうふうにされるのかもしれませんが、それはしっかりと安全を確認した上での体制づくりということができた上でのことだと思いますので、そういうふうに進めていただきたいと思います。

また知事選につきましては、私なかなかコメントする立場にないのでお話ししにくいんですけれども、福井県とすると県の力といいますか県政を運営していく上で一つになっていなくてはならないと思っていますので、できるだけ一つの、一本化して進めていただけたらありがたいなと思っていますが、私の力ではどうしようもありませんので、願うだけです。

【記者】 今日、市長、ネクタイの色がちょっと気になったんですけれども。それは何の意味もないんですね。

【市長】 何の意味もないです。

【記者】 幹部がみんな何となく赤系で、ちょっと驚いてしまったんですけれども。

【市長】 みんなちょっと気合が入っていますね。

【記者】 どきっとしました。

【市長】 昨日まで青だったので、今日は赤にしました。たまたまです。

【記者】 今、知事選のお話が出ましたので、お伺いします。コメントする立場にないというふうにおっしゃられたのであれですが、こちら基礎自治体と県と、多分性格の違いがあるとは思いますが、一つ、原子力発電所の関係もありますし、ご一緒に仕事をしていたら、西川県政の評価というのはどういうふうなところをお考えなのかというのを一つお伺いしたいなと思います。

【市長】 私、市長になってまだ3年半ですので、長い期間の評価というのはなかなかできないんですが、私が拝見している県政の動きといいますのは、もんじゅのときもそうですけれども、きちんと国に物が言える県政を運営されていると思っていますので、大きな道路の要望をすとか、原子力の要望をすとかいうときでも、県が力強く動いていらっしゃるといのは感じていますので、きちんと前向きに動いているというふうに評価しています。

【記者】 重ねて一つだけ。今、県が国に物が言えるというふうにおっしゃっていました。選挙がどうなるかというのはわかりませんが、まだ候補云々という話が出ていますけれども、これから県に求めていくこと、どのような県政の運営というか、もっと言うと国に対してのスタンス、どういうふうに対峙していったらいいとお考えですか。

【市長】 次の4年間とか5年ぐらいのスパンで考えますと、国体が終わりましたけれども、次、敦賀までの新幹線の延伸がありますし、敦賀のことで言いましたら、海外クルー

ズ客船も来ましたから、これをいかにつなげていくかということは敦賀だけではできなくて、県力も借りて、アメリカとかそういうところに、船会社にアプローチをしていく必要がありますので、非常に大事な時期だと思っています。原子力のこともありますけれども、そういうところで発言力のある、力のある県政運営というのが必要だというふうに思っています。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 少し敦賀病院のお話がありましたので、この場でお伺いしてみようと思うんですけども、敦賀病院の空調が大変、この夏も去年の夏も悪くて、暑かったという患者さんの声を私、二、三伺っているんですが、そのあたりは病院のほうでどんな認識になっているのか。また、そういうクレームは入っているのか、概要を教えてくださいませんか。

【市長】 これは病院の事務局長のほうで。

【敦賀病院事務局長】 今ほどの空調の件につきましては、直接、患者さんから暑いという話は僕のところへは入っていないんですが、ただ、今年の夏は非常に猛暑でございまして、やはり外気と内気の差で、一部空調設備が結露するということは発生しました。それで、空調機器から水滴が垂れるようなことはあったのは事実でございます。それについては、報告を受けて、うちの職員で対応させていただいたところです。

特に報道でありましたような、岐阜の病院のようなことはなかったという認識でおります。

【記者】 そこまではないと思いますけれども。そうしたら一応、修繕というか、新しくするんですか。

【敦賀病院事務局長】 直ちに新しくするということは考えてはいないんですけども、うちの職員で対策がとれる範囲であったという認識でありますので、また事案によって対処させていただきたいと思っております。

また一方で、やはり病院ですので、病気を抱えられた方がたくさんいらっしゃいますので、同じ室温に定めておいても、一方では暑いという方と、一方では寒いという方もおりますので、ある程度、病院のほうで温度というのを定めておりますので。どうしても個人差がありますので、暑い寒いというのはなかなか全ての方に対しては応えられないのかなというのは現状でございます。

【記者】 できるだけ、命にかかわることでもありますので、個別の対応も含めて、またお願いできたらと思いますけれども。

【記者】 ふげんの燃料の搬出先と契約がまとまりましたというお話がこの間ありました。その中で、もんじゅのこととか、あと、ふげんの廃炉に伴って出るものをきちっと処理していくということについて申し入れていらっしゃるのをお伺いしましたけれども、これから廃炉というのが本格的になってくる中で、立地の自治体としてどういうことを求めていくとお考えなのか、改めて聞かせてください。

【市長】 ふげんの使用済燃料の搬出につきましては、最初の約束と期間がずれましたので、これ以上は、これも守っていただきたいということと、完了時期がありますので、平成45年ですが、その時期を変えることなく進めていただきたいというのが私どもの要求です。

もう一つ、もんじゅにつきましても、5年後に搬出時期を示すということになっていきますので、それにあわせてきちんと出していただきたいですし、できるだけ早く、それにとらわれずに早く示していただきたいと申し入れたところです。

あと、使用済燃料とか放射性廃棄物につきましては、よそに出してくださいね、間違いなく出してくださいねという約束ですので、そういうことを確認したということです。

【記者】 今お伺いした点、よそに出してほしいという話ですよね。県としても、今の段階では外に出してくれというお話ですし、選挙どうなるかわかりませんが、その結果云々というのは、まだその構図が固まっていませんのであれですが、それは県の動向というのにかかわらず、立地としては、やっぱり敦賀としてはそう求めていくという方針で、今のところ変わりはないということなののでしょうか。それとも、県の方針いかによっては変わるという可能性があると考えればいいのでしょうか。

【市長】 放射性廃棄物についてですか。それはもともと出してもらおうという約束ですので、敦賀市としても出してもらおうということです。

【記者】 わかりました。ありがとうございます。

【記者】 少し重なるんですけども、使用済燃料のことで、市長、全原協の会長としてのお立場からいうと、もちろん県知事のご方針があるわけですが、それとはちょっと別として、例えば金属製キャスクに入れて、しばらくの間、期限を決めて置くとかということも今の段階ではちょっとできないというような、そういう感じでしょうか。

【市長】 乾式貯蔵ですね。使用済燃料の乾式貯蔵につきましては、県のほうで、県が搬出ということで、乾式はしない。搬出促進税も出して、できるだけ早くいかに持っていただけるかということに注視していますので、乾式キャスクをすることによって立地にずっと置いてしまうようなことにならないようにという方針があるわけですから、それでいいと思っています。

【記者】 乾式キャスクの話は、ちょっとないと。

【市長】 そうですね。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして11月の市長定例記者会見を終わります。

ありがとうございました。

午後2時00分 終了